

2022年5月27日

報道関係各位

下地島エアポートマネジメント株式会社

## みやこ下地島空港ターミナル 利用客数 50 万人に到達

みやこ下地島空港ターミナル（沖縄県宮古島市）の利用客数が 50 万人に到達しましたのでお知らせいたします。同施設は 2019 年 3 月 30 日に開業し、3 年 2 カ月目となる 2022 年 5 月 27 日を以て、ターミナルを利用した旅客数が 50 万人となりました。

みやこ下地島空港ターミナルの運営会社である下地島エアポートマネジメント株式会社（以下、「SAMCO」）は、本施設を所有する三菱地所株式会社（以下、「三菱地所」）と共に、開業前より沖縄県や宮古島市、沖縄観光コンベンションビューロー、宮古島観光協会、宮古島商工会議所ほかとの協働のもと路線誘致活動を進めており、2020 年以降は新型コロナウイルスの影響で一部の路線に運休・減便等があったものの、現在は開業当初から就航している成田路線（ジェットスター）、2020 年 10 月より就航を開始した羽田・神戸・那覇路線（スカイマーク）の計 4 路線が定期路線（※1）として運航しています。

また、2021 年度における下地島空港の年間利用者数は約 21.7 万人とコロナ禍にも拘わらず 2020 年度に比べて約 1.9 倍となりました（※2）。

※1:香港路線（香港エクスプレス）は運休中。

※2:2020 年度は 11.2 万人

なお、前記スカイマークの羽田路線（※3）については、2022 年 3 月末より、国土交通省航空局が行う「羽田発着枠政策コンテスト」の評価期間に入っていることから、下地島空港活性化協議会をはじめとした各所との連携をこれまで以上に強め、地域一丸となって内外の交流人口拡大による地域活性化を目指してまいります。

※3：スカイマークの羽田路線は、現在「羽田発着枠政策コンテスト」の本審査期間となっており、2020 年 5 月の評価で僅差であった 5 位の羽田＝三沢線との実績（当方は 6 位）を再度評価した上で、羽田発着枠の最終的な配分先が決定されます。



▲開業日に成田空港から到着したスカイマーク初便（2019年3月30日）



▲スカイマーク羽田・神戸・那覇路線の就航式典（2020年10月25日）

■「みやこ下地島空港ターミナル」について

開業日：2019年3月30日

所在地：沖縄県宮古島市伊良部字佐和田 1727 番地

敷地面積：32,586 m<sup>2</sup>

規模・構造：RC造+CLT造・地上1階建

主要施設：チェックインカウンター数12箇所、搭乗ゲート3箇所、到着ロビー 国際線・国内線各1箇所、飲食店2店舗、物販店3店舗（免税店含む）、レンタカー受付カウンター、ATM

